

教育課程並びに当該教育課程を履修する上で求められる学識及び能力

1.教育課程のリンク

<https://www.omu.ac.jp/lawschool/education/curriculum/>

2.法科大学院入学後の学修に当たって求められる学識・能力

全ての入学者について、文章の正確な読解力、論理的な推論、分析、判断を的確に行うことのできる能力、そして思考のプロセスと結果とを明確に表現する能力が求められる。

2年短縮型の入学者については、本専攻の1年次に提供される法律基本科目において修得される基礎的な学識を有していることが求められる。

3.1年次が終了する段階で身に付けておく必要がある程度

本専攻の1年次に提供される法律基本科目において修得される基礎的な学識を十分に有していることが求められる。

4.2年次が終了する段階で身に付けておく必要がある程度

全ての法曹に不可欠な現行法の十分な知識、現代社会に発生する新たな法的問題に対応する専門的能力、現行法を相対化して批判的に検討することのできる能力が求められる。

5.法科大学院を修了する段階で身に付けておく必要がある程度

全ての法曹に不可欠な現行法についての十分な学識、現代社会に発生する新たな法的問題に適切に対応できる専門的能力、現行法を固定的で万能なものとするのではなく、法の発展に寄与することのできる「善き法律家」たりうる能力、法曹としての社会的責任を十分に自覚し、公益的業務に積極的に取り組む意欲を持つ「市民のための」「善き隣人」としての「善き法律家」たりうる能力が求められる。